

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
大綱1 市民が参加し、地 域コミュニティ豊か なまち (10指標)	1 コミュニティ活動の 推進	コミュニティ施設の 利用者数	人	164,146	171,018	154,474	140,000 →167,000以上	現状の利用者数を鑑み修正する。	2	コミュニティセンターの利用者は、目標を上回る154,474人、達成率112.9%となりました。 また、地区コミュニティ協議会の組織数については、目標10に対して実績11であるため、概ね目標・予定に沿う成果・進捗であると判断しました。	
		地区コミュニティ協 議会の組織数	団体	8	11	11	23 →21以上	久喜地区において、2つの小学校区で1つの地区コミュニティ協議会の設立があり、今後同様の例が1件見込まれるため、23から21に変更する。			
	2 協働のまちづくり の推進	附属機関公募委 員の応募率	%	144.4	129.9	127.8	210.0以上 →150.0以上	実績を鑑み修正する。	3	市民参加の情報及び機会の提供は、広報、ホームページ、公共施設に設置している市民参加コーナーを用いて、積極的に提供していますが、附属機関公募委員の応募率について、達成率が64.5%であることから、目標・予定を下回る成果・進捗であると判断しました。	附属機関公募委員の応募率は、目標を下回る状況が続いていることから、応募率向上に向けた方策を検討されたい。
	3 人権の尊重	人権に関する相談 窓口の設置数	回	51	51	51	51 以上		2	人権相談については、市民の人権を守るための相談窓口となっています。平成27年度は102件の相談実績があり、平成26年度の実績100件とほぼ同数となりました。また、広報紙「人権久喜」を市内に全戸配布することで、市民が人権について考えるきっかけとなっております。また、人権作文コンテストや人権教室の開催は、次代を担う小中学生が人権について考える機会となっていると考えられるため、様々な世代に自由人権思想の普及高揚を図ることができたと判断しました。	
	4 男女共同参画社 会の実現	男女共同参画の 周知度	%	-	-	52.0 (平成23年度)	80.0 以上		2	「男女共同参画」の周知度については、平成22年度以降に市民意識調査を実施しておらず、現状値から目標達成度を判断することが出来ません。しかし、平成27年度の1日体験学習ツアーや男(ひと)と女(ひと)のつどいの参加者を対象としたアンケートでの「男女共同参画」の周知度は、それぞれ95%、71%であり、市民意識調査時点(52.0%)より高い結果でした。 女性委員の登用率については、平成22年10月1日時点の数値から低下しており、目標を達成出来ていませんが、総合的に判断した結果、目標・予定に沿う成果・進捗であるとしました。	
		市の審議会等にお ける女性委員の登 用率	%	32.4	32.9	32.1	40.0 以上				
	5 交流活動の推進	日本語教室参加 者数	人	57	66	82	120 以上		2	日本語教室の参加者数の達成率が102.5%となっており、概ね目標・予定に沿う成果・進捗であると判断しました。	外国人にとって、住みやすい久喜市を目指すため、日本語教室を継続されたい。 また、外国語(併記)の刊行物の発行については、ニーズ等を的確に捉えながら、どのような発行形態が良いか、手間やコストを勘案して最適な方法を判断されたい。
		外国語(併記)刊 行物の発行種類 数	種類	0	0	0	1 以上				
	6 情報公開の推進	歴史公文書の所 蔵件数	件	13,546	15,389	16,745	16,300 →24,000 以上	歴史公文書の増加が年間1,000件程度見込まれるため。	1	ホームページアクセス件数については計画を大幅に上回って増えている。今後は、シティプロモーション推進指針に基づき、久喜市の魅力、市民に喜んでもらえる情報を積極的に発信し続けていくことで、中間目標の達成も十分可能であるものと判断できます。 また、歴史公文書の所蔵件数については総合振興計画の値を大幅に上回り、平成34年度の目標値も達成しています。引き続き、所蔵資料の充実に向けていきます。 以上のことから、全体としては目標・予定を著しく上回る成果・進捗であると判断しました。	ホームページのアクセス数については、今後も伸びるものと考えられることから、これからはコンテンツの質的改善を検討されたい。 また、掲載ファイルのダウンロード件数を指標とすることについて、今後検討されたい。
	7 戦略的かつ効果的 な広報・広聴活動 の推進	ホームページア クセス件数	件	5,057,515	5,937,680	5,257,542	平成29年度 実績値以上 →5,258,000以 上		-		

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
大綱2 自然とふれあえる、環境に優しいまち (10指標)	1 自然環境の保全・創造	環境関係住民団体数	団体	5	5	5	8以上		3	環境学習会は、目標・計画のとおり進捗しています。環境保全団体は、新規の登録がなく目標を下回っています。河川の水質は、基準達成目標を下回っています。	
		環境学習会開催数	回	6	6	6	8以上				
		河川の水質基準達成率	%	68.8	72.0	71.6	78.0以上				
	2 快適な生活環境の創造	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動参加人数	人	21,160	21,480	20,916	20,800 →24,000以上	目標値を達成しているため、さらに参加人数を増やすことを目標とする。	3	ゴミゼロ・クリーン久喜市民運動については、目標を上回る参加者数を維持しています。公害に関する苦情処理件数は、目標以内に収めることができませんでした。	今後指標を設定する際には、苦情に対して効果的な改善が図られた件数について検討されたい。苦情処理1件当たりの処理時間や日数などを統計データとして収集し、苦情処理の状況を把握したうえで、課題や改善策を検討されたい。
		公害に関する苦情処理件数	件	190	198	190	140以下				
	3 美しい景観の形成	地区計画を定めている地区数	地区	12	12	12	12以上 →15以上	平成28年度から29年度にかけて、地区計画の決定を進めている案件が3件あり、合計で15地区となるため。	2	市内全域12箇所です定められている地区計画に基づき、既存の都市計画を前提に、地区の実情に合ったよりきめ細かい規制を行い、道路・公園等の施設の配置や建築物の形態・用途・敷地等が各地区の特性に応じて整備されるよう指導を行い、街の環境の形成や維持、保全を行っています。	
	4 廃棄物処理の充実	市民一人1日当たりごみ排出量(資源物を除く)	g	481	479	470	350 →415以下	「久喜市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に定める目標値と整合を図るため修正する。	3	市民一人当たりのごみの排出量については、広報等の啓発による市民個々の意識の向上により、前年度よりごみの排出量は削減されましたが、目標を達成することができませんでした。また、再生利用率については、平成27年度から菖蒲清掃センターで発生する焼却灰の人工砂化や廃スプレー缶の資源化を進めることで増加しましたが、目標を達成することができませんでした。	
		再生利用率(リサイクル率)	%	33.0	32.3	32.4	44.7 →34.6以上	「久喜市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に定める目標値と整合を図るため修正する。			
	5 地球環境問題への対応	市の事務・事業から排出される温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)	t	10,497	10,576	10,484	平成29年度実績値以下 →11,746以下	「第2次久喜市環境保全率先実行計画」の目標値と整合を図るため修正する。	2	市の事務・事業から排出される温室効果ガス総排出量及び設置された住宅用太陽光発電システムの最大出力については、目標を達成しています。	
		設置された住宅用太陽光発電システムの最大出力	KW	2,483	3,153	3,508	9,450 →5,950以上	設定時は、太陽光発電システムだけの補助制度であったが、平成27年度から太陽光発電システムの他に、エネファームやエコキュートなどの省エネルギー機器7機種を対象とした新制度に改めたため、相対的に太陽光発電システムの補助金交付件数は低下している。平成27年度の実績出力355Kw(平成28年度は291KW)を基に目標修正。 3,508+291(H28実績)+ (355×6年)≒5,950			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1: 予定を上回る成果・進捗、2: 目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3: 目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
大綱3 子どもから高齢者 まで、誰もが健康 で安心して暮らせ るまち (27指標)	1 健康づくり・食育の 推進	健康づくりに関する 事業への参加者 数	人	62,261	68,572	72,346	62,300 →74,800以上	平成29年度以降に、健康づくり事業の促進のため、健康マイレージの導入を予定しており、健康づくり事業への市民の新規参加が見込まれることから、目標値を変更する。	1	健康づくりに関する事業への参加者数及び65歳健康寿命(男性・女性)については、目標値を上回りました。がん検診受診者については、ここ数年目標値を上回り、前年と比較して受診者数が増加しています。今後も周知に努め、受診者数の増加を図ります。がん検診精密検査受診率についても、目標値を上回る結果が続いていますが、引き続き受診状況の把握に努めていきます。乳幼児健康診査の未受診児に対する状況把握率についても、目標値を上回る結果となりました。引き続き状況把握率の向上に努めていきます。成果指標を総合的に判断しますと、目標・計画通りの進捗であることから、目標・予定を上回る成果・進捗であると判断しました。	がん検診受診により、がんが早期発見された場合の医療費等の削減額(について、財政シミュレーションを行い、受診者や受診率が上がることにより、どの程度の財政効果が見込まれるのか、測定することを検討されたい。
		65歳健康寿命	年	男性 17.18	男性 17.19	男性 17.35	男性17.25 →男性17.50以上	これまで、健康寿命は微増となっており、特に男性は目標値を越えている。埼玉県が平成30年度までの目標値としている65歳健康寿命を参考に、平成34年度までの目標値を変更する。 *参考:埼玉県のH30年度までの目標は男性17.44年、女性20.12年。			
			女性 19.96	女性 20.11	女性 20.10	女性20.25以上					
		がん検診受診者数	人	37,043	39,536	41,437	49,300以上				
		がん検診精密検査 受診率	%	68.7	68.7	67.2	70.0以上				
		乳幼児健康診査 の未受診児に対す る状況把握率	%	76.2	86.9	83.1	100.0				
2 地域医療の充実		「とねっと」参加申 込者数	人	3,299	4,159	4,656	30,000 →12,000以上	「埼玉県地域医療再生計画」に掲げられた「かかりつけ医カード発行枚数50,000人」を基に、利根医療圏の久喜市における人口比率23.4%を乗じて算出した数値とする。	3	平成27年度の「とねっと」参加申込者数は、目標値を下回る結果となりました。また、利根保健医療圏(7市2町)全体の1年間の参加者の伸び率は13.0%で、本市における伸び率は、若干下回る12.0%でした。今後、更なる参加者の増加を見込むためには、啓発方法の工夫を図る等の対応が、利根保健医療圏全体での課題でもあり、これらのことを考慮した結果、目標・予定を下回る進捗状況であると判断したところで	「とねっと」参加者数を伸ばすためには、医療機関の参加が不可欠であることから、医療機関への働きかけを推進されたい。
3 子育て支援の充実		特別保育実施保 育所数	箇所	21	22	25	20 →30以上	現状の設置箇所数を鑑み修正。	1	当初の計画では20か所が目標でしたが平成27年度の特別保育は25か所の保育所等で実施しました。平成27年度に需要の高い小規模保育事業所を3園開所し、子どもをより安心して育てる環境を整えることができました。また、平成27年度の待機児童数は、平成26年度同様0人でした。今後も保護者の保育ニーズに応えるため、保育所等の施設整備を計画的に行い、保育所の定員の増加を図ります。 次に、平成27年度の子育て支援センターについては、子育て中の保護者のニーズに応えるため、アンケートなども参考にしながら、事業内容の見直しを図りながら、様々な事業を展開した結果目標を大きく上回る利用者数となりました。また、ファミリー・サポート・センターについては、広報紙や講習会、民生児童委員協議会の会議に向いてのPR活動を実施した結果、目標を上回る登録会員数となりました。	人口減少を抑制していくためには、産みやすく、育てやすいまちづくりが重要であることから、統一的なビジョンの下に様々な子育て支援のための施策を推進されたい。
		保育所持機児童 数	人	0	0	0	0				
		子育て支援セン ター利用者数	人	28,120	31,619	31,218	30,500→ 40,000以上	児童数の減少の傾向は続いているが、地域子育て支援センターの利用者数のは増加の傾向にあるため、これらの近年の利用者数の状況や、今後開設予定の「久喜西児童館・子育て支援センター」の利用者数を鑑みて修正。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
4 高齢者福祉の充実		介護予防教室等の参加者数	人	13,595	16,671	21,132	30,000 →33,500以上	実施会場の増加が見込まれること、現状の参加者数を鑑み修正。	2	6指標のうち、老人クラブ会員数及び、いきいきデイサービスの参加者数は目標を達成していませんが、介護予防教室等の参加者数、地域包括支援センター相談者数、認知症サポーター養成講座新規受講者数、介護予防ボランティア(はつらつリーダー)登録者数の4指標においては目標を達成しているため、全体としては目標・予定に沿う成果・進捗であると判断しました。	
		地域包括支援センター相談者数	人	21,214	24,406	23,876	25,000 →30,000以上	過去3年間の実績は、年々増加している状況ではないが、平成25年度から平成27年度の数値から考慮し、目標値を設定。			
		いきいきデイサービスの参加者数	人	325	346	354	400以上				
		老人クラブ会員数	人	3,380	3,267	3,194	4,250 →3,200以上	クラブ数及び会員数が減少していることから、現状値の登録者数を鑑み修正。			
		認知症サポーター養成講座新規受講者数	人	1,304	1,440	1,973	1,650以上				
		介護予防ボランティア(はつらつリーダー)登録者数	人	56	67	86	145以上				
5 障がい者(児)福祉の充実		久喜市障がい者就労支援事業登録者における障がい者の就労数	人	24	27	35	28 以上		1	障がい者就労数について、障がい者の特性に応じた定着の支援に努め、目標人数を上回ることができました。 また、福祉タクシー利用助成や自動車燃料費助成を受けている障がい者の割合、居宅介護等サービスを受けている障がい者の数、日中活動系サービスを受けている障がい者の数、要介護者見守り支援事業のうち障がい者の登録者数の4指標についても計画値を上回っており、全体として目標・予定を上回る成果・進捗となっております。	
		福祉タクシー利用助成や自動車燃料費助成を受けている障がい者の割合	%	81.0	81.0	79.0	80.0 以上				
		居宅介護等サービスを受けている障がい者の数	人	309	316	319	310 →320以上	障がい福祉サービスの充実が図られたことにより、利用者数が増加している。今後は平成27年度と同程度の件数が見込まれる。			
		日中活動系サービスを受けている障がい者の数	人	739	772	799	610 →950以上	生活介護、就労支援、放課後等デイサービスの事業所の増加に伴い利用者も増加が見込まれるため。			
		久喜市要介護者見守り支援事業のうち障がい者の登録者数	人	598	592	626	560 →640以上	現状の登録者数を鑑み修正。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1: 予定を上回る成果・進捗、2: 目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3: 目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価			
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見	
6	地域福祉・地域ボランティアの充実	ボランティアセンター登録者数	人	312	323	344	300 →380以上	現況の推移から今後も増加が見込まれるため見直す。 「第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画」と整合を図った数値。	2	ボランティア団体の登録者数及び登録団体数は目標に達しており、地域ボランティアの充実が図られています。また、ふれあいいきいきサロンの設置数も目標を上回っており、地域福祉の振興に貢献しています。 一方、要介護見守り支援台帳登録者数は、死亡や転出(施設入所)による減少、また65歳以上の高齢者の方であっても現役世代と同等に活躍している方々も増えていることから、支援を必要とする登録希望者に減少傾向が見られ、総数としては目標値に届いておりません。しかし、新規登録者数は前年度に比べ102人増の265人となり、事業の周知が図られ理解が深まってきたものと考えます。 単年度目標に届かない指標もありますが、指標の過半数が単年度目標を達成しており、総合的な判断としては目標・予定に沿う成果・進捗であると考えます。		
		ボランティアセンター登録団体数	団体	75	82	81	88以上					
		要介護見守り支援台帳登録者数	人	4,340	4,269	4,021	5,200以上					
		社会福祉協議会会員数	世帯	32,437	32,240	31,977	33,300 →32,000以上					現状値の登録者数を鑑み修正。 【参考】 賛助会員 411人(H28)、391人(H27) 法人会員 108人(H28)、113人(H27)
		ふれあいいきいきサロン設置数	箇所	28	35	40	40 →60以上					現状値が目標値を超えており、今後も増加が見込まれるため、見直す。「第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画」と整合を図った数値。
7	社会保障制度の充実	国民健康保険税の滞納額	百万円 →億円	1,626 →16.26	1,429 →14.29	1,276 →12.76	2,052以下 →10.41以下	今後も徴収努力を行うことで滞納額の圧縮を図る。百万円単位では分かりづらいため、億円単位へ改める。	2	国民健康保険税については、平成27年度において滞納額が前年度比10.7%縮減され、滞納整理の実施の効果があらわれているとともに、滞納額も12億7,600万円と目標を達成しました。また、生活保護から自立した世帯数についても目標を達成しております。 国民健康保険事業における医療費抑制に向けた予防施策として、特定健康診査については受診率が前年度と比較し向上しており、後期高齢者医療制度においても広域連合との連携により適切な運営が図られたことから、施策全体を俯瞰して判断し、目標・予定に沿う成果・進捗であると判断しました。		
		生活保護から自立した世帯数	世帯	41	33	69	37以上					

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価			
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見	
大綱4 心豊かな人材を育 み、郷土の歴史文 化を大切にすま ち (30指標)	1 幼児教育の充実	家庭教育学級の 参加数 (小・中学校PTA 等)	学級	20	20	23	40		3	小学校と連携を取り年間計画を作成し、小学校見学や体験学習、交 流の機会を設けることにより、園児の小学校生活への円滑な移行が図 れました。 また、家庭教育における子育てに関する課題等を解決に向けた学習 機会を提供するため、家庭教育学級を実施し、23団体に対し補助金を 交付しました。昨年度より3団体、参加が増えましたが目標の学級数に は至っていないため、目標・予定を下回る進捗状況であると判断しま した。	家庭教育学級を実施している団 体の優れた取組みについて、情 報共有を図ることで、参加数の増 加が図られるよう取り組まれた い。	
		幼小連携教育推 進事業実施数(幼 稚園が中心)	園	2	2	2	2以上					
	2 学校教育の充実	小中学校施設の 耐震化率	%	94.7	99.1	100.0	100	指標から削除。 平成27年度に目標値を達成したことから削除す るもの。	2	「小中学校施設の耐震化率」、「地元農産物を取り入れた学校給食食 材の割合」、「『学校が好きだ』と考えている児童生徒の割合」が目標・ 計画値を上回るなど、概ね成果がありました。 「1日1回は読書をしている児童生徒の割合」において、中学生の実績 が目標を下回りました。	学校を取り巻く社会的な問題 (いじめや不登校等)について、施 策の中で触れることを検討すると ともに、これらの問題の改善実績 等について、情報提供することを 検討されたい。	
		屋内運動場等の 非構造部材の落 下防止対策をした 施設数	施設	0	0	0	36	安全な教育環境を確保するため、照明器具等 の非構造部材の落下防止対策を実施する。				
		地元農産物を取り 入れた学校給食食 材の割合	%	12.1	16.0	15.9	12.6 →17.0以上	安全・安心な学校給食を提供できるよう、良質な 食材の確保とさらなる地産地消の推進を図る。				
		1日1回は読書をし ている児童生徒の 割合	%	小学校	82.6	83.0	85.3	小学校 95.0以上				
				中学校	87.4	70.2	72.5	中学校 90.0以上				
		「学校が好きだ」と 考えている児童生 徒の割合	%	小学校	86.9	91.9	90.0	小学校85.0 →小学校90.0 以上				中学校の発達段階を考慮すると90%は高い数 値であると考えている。今後も90%を超えている 状態を維持していくことを目標とする。
				中学校	83.6	88.5	91.9	中学校80.0 →中学校90.0 以上				
		体力テストの5段階 絶対評価で上位3 ランク(ABC)の児 童生徒の割合	%	小学校	86.1	86.7	86.5	小学校 90.0以上				
中学校	85.3			87.2	86.5	中学校 90.0以上						
毎日朝食を食べて いる児童生徒の割 合	%	小学校	91.6	98.7	96.2	小学校 99.0以上						
		中学校	85.9	93.9	96.6	中学校 99.0以上						

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1: 予定を上回る成果・進捗、2: 目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3: 目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
3	高等教育機関との連携	民間事業所との連携事業数	事業	0	0	0	1以上		3	産学共同研究費補助事業は、ホームページで周知を行っています が、高等教育機関と市内事業者のニーズのマッチングが図られず、交付金の交付に至っていないため、目標・予定を下回ると判断しました。	「子ども大学くき」について、広報活動を充実させるとともに、講座内容の充実を図りたい。
		4	青少年の健全育成	青少年相談員の人数	人	12	8	8	24 →12以上	目標値と現状値が大幅に乖離していることを考慮し見直す。平成25年度の実績を目標値として設定。	3
	青少年団体事業に参加する児童・生徒数	人	660	759	669	800以上					
5	人権教育の推進	PTA人権教育研修会の開催数	回	4	4	4	4以上		3	PTA人権教育研修会の開催数については、目標どおり4回開催し達成率は100%です。社会人権教育指導者養成講座の参加者数については、目標数値の325人より20人下回り305人となり達成率は93.8%です。 野久喜集会所事業参加者数については、目標数値の1,571人より149人下回り1,422人となり達成率は90.5%です。内下集会所事業参加者数については、目標数値の490人より161人下回り329人となり達成率は67.1%です。	
		社会人権教育指導者養成講座の参加者数	人	290	315	305	325以上				
		野久喜集会所事業参加者数	人	1,598	1,555	1,422	1,571以上				
		内下集会所事業参加者数	人	553	375	329	490以上				
6	生涯学習の推進	生涯学習関連の講座・教室の参加者数	人	14,445	15,556	14,531	12,320以上 →14,600以上	「教育振興基本計画第2期計画」に定める目標値と整合を図るため修正する。	1	市民が生涯にわたって自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、多種多様な学習活動の機会の充実に努め、生涯学習関連の講座等の参加者は目標値を大きく上回りました。公民館利用率については、平成25年度は工事のため中央公民館が2か月間休館のため目標値を下回りましたが、平成26年度からは目標値を上回っています。図書館では、利用者ニーズを捉えた資料整備に努め、貸出冊数の増加を図られました。また、地域にゆかりのある作家に親しむ場の提供として、菖蒲図書館において「深沢七郎常設展示コーナー」を設置しました。	
		生涯学習人材バンク登録者数	人	210	210	212	210以上 →215以上	「教育振興基本計画第2期計画」に定める目標値と整合を図るため修正する。			
		公民館利用者数	人	352,705	389,245	398,171	363,378以上 →380,000以上	生涯学習センターが設置されると、高齢者大学及び市民大学の会場が中央公民館から変更となる。目標値は、H27公民館全体入館者数398,171からH27中央公民館の高大・市民大の入館者数17,626を差し引いた人数とする。			
		(仮称)生涯学習センター利用者数	人	-	-	-	102,000以上	(仮称)生涯学習センターの定員数は、中央公民館の65%を想定。中央公民館と同水準の利用を見込み、同公民館の27年度実績157,532人に65%を乗じた人数を目標とする。			
		人口一人当たりの図書の貸出冊数	冊	4.55	4.87	5.07	5.68 →5.43以上	県平均並みの貸出冊数を指すことを目的とし、過去5年間の県平均を参考に算出。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
7 歴史・文化の継承 と活用		久喜市美術展出品者数	人	431	429	427	500 →450以上	文化芸術活動に参加する市民が減少傾向にあるが、各文化団体へ働きかけるなどの周知活動を通じて、当初目標値より10%減にとどめるように見直しを図った。	2	久喜市美術展の出品者は達成率90.1%、入場者数は同82.0%、市民芸術祭の入場者数は同77.6%で目標をやや下回りました。吹奏楽フェスティバルの入場者数は同100%で目標どおりでした。郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数は同114.9%、郷土資料館の入館者数は同108.4%で、目標を上回りました。特に、郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数と郷土資料館の入館者数は中間目標値を達成しており、順調に進捗しているといえます。 上記6指標を中心に判断したとき、全体としては目標に沿う成果であると判断しました。	
		久喜市美術展入場者数	人	2,413	1,996	2,132	3,000 →2800以上	文化芸術活動に参加する市民が減少傾向にあるが、各文化団体へ働きかけるなどの周知活動を通じて、当初目標値より約7%減にとどめるように見直しを図った。			
		市民芸術祭入場者数	人	756	796	652	850 →800以上	文化芸術活動に参加する市民が減少傾向にある。過去の実績を勘案して平均値に近い800人と設定した。			
		吹奏楽フェスティバル入場者数	人	1,980	1,918	1,950	2,100以上				
		郷土伝統芸能後継者育成活動の実施回数	回	316	306	309	288 →310以上	前期基本計画期間中(H25～H27)の実績値の平均である「310回」に修正する。			
		郷土資料館の入館者数	人	8,313	9,509	7,809	7690 →7,900以上	現状の入場者数を鑑み修正。			
		街かどコンサートの実施回数	回			7	8以上	新たな指標として追加するもの。			
8 スポーツ・レクリ エーション活動の 充実		社会体育施設利用者数	人	214,542	262,844	280,149	168,000 →281,000以上	今後も平成27年度実績程度の利用者が見込めるため。	2	社会体育施設利用者は、施設の管理者に指定管理者を導入したことにより、利用者を順調に増やすことができました。スポーツ・レクリエーション大会等参加者数についても、中間目標値を達成しており、順調に進捗しています。	核となるスポーツを市として設定し、資源を重点配分することにより、多くの市民が参画し、自慢できる魅力ある地域づくりが図られるような、取組みを検討されたい。
		学校体育施設利用者数	人	203,426	194,538	209,483	210,000以上				
		スポーツ・レクリエーション大会、教室等参加者数	人	15,509	15,033	17,754	13,143以上 →17,754以上	今後も平成27年度実績程度の利用者が見込めるため。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1: 予定を上回る成果・進捗、2: 目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3: 目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
大綱5 安全で調和のとれた 住みよい快適な まち (23指標)	1 都市機能の整備	市街化区域の面 整備率	%	61.1	61.1	61.1	61.1 以上 →61.5以上	目標値を設定するための基礎資料となる都市 計画基礎調査の基準年度を最新の平成27年度 のものに改めたため。	2	市街化区域内の未利用地等の有効活用を図るため、用途地域の見 直し等に着手し、地域の特色に合った土地利用が出来るように検討を 進めています。実際に面整備が行われるまでには時間を要するた め、実績に反映されるのはまだ先となります。 また、昨年度に埼玉県内の圏央道が全線開通されたことにより、イン ターチェンジ周辺での開発は増えていくと考えています。	
	2 道路・公共交通の 整備・充実	舗装整備率	%	72.16	72.44	72.76	75.00以上		「①舗装整備率」、並びに「②歩道整備延長」については、目標・計画 を上回り、概ね順調に進捗しています。一方で、「③市内循環バス乗車 人数」については、成果指標達成率が98.9%となっており、目標・計画を 下回る結果となりました。 しかしながら、市内循環バス年間の乗車人数は、平成26年度に比べ て、2,500人増加しており、目標達成率も徐々に100%に近づいていること から、施策全体としては目標・予定に沿う進捗状況であると判断いたし ました。	2	
		歩道整備延長	m	153,363	154,747	155,511	150,000 →158,000以上	既に平成34年度の目標値を達成しているため、 平成27年度実績値から各年約350mの整備を 行うように目標値を設定。			
		市内循環バス乗車 人数	人	148,758	155,270	157,770	169,000以上				
		デマンド交通乗車 人数	人	4,643	17,091	18,209	19,480以上	新たな指標として追加 前期基本計画策定時においては、デマンド交通 の運行は行っていなかった。このため、後期計 画においては、市内循環バスと同様に、指標に 加えることとする。 ○現状値から7%増(毎年1%増) H27年度 18,209人×1.07=19,484人≒19,480 人			
	3 公園の緑化と水辺 環境の保全	都市公園の整備 (供用)面積	m ²	628,916	626,421	635,936	651,000以上		清久工業団地周辺土地区画整理事業地内に配置した「清久町2号・3 号緑地(計9,515㎡)」を供用開始したことにより、平成27年度末供用面 積を635,935.71㎡とし、目標を上回ることができました。 総合体育館及び有料公園施設等の利用者数については、良好な施 設環境を維持し、老朽化した備品や設備の更新を行うとともに、各施設 における利便性の向上を図ったことで、順調に推移しています。 公園維持管理業務等の委託契約を締結した住民団体数については、 目標値を大きく上回る住民団体と契約を締結させていただき、市内の広 範囲において協働による維持管理を推進することができました。	2	
		総合体育館及び有 料公園施設等の 利用者数	人	622,077	637,651	675,091	555,703以上 → 675,091以上	現状の利用者数を鑑み修正。			
		公園維持管理業 務等の委託契約を 締結した住民団体 数	団体	140	146	145	110 →145以上	実績を鑑み修正。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1: 予定を上回る成果・進捗、2: 目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3: 目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
4	上下水道の整備	有収率(給水する 水量と料金として 収入のあった水量 との比率)	%	92.0	91.2	91.8	93.6以上		2	指標のうち、有収率及び下水道普及率の2つが未達成となっておりますが、それぞれが99%以上の達成率です。また、その他の指標は達成となっており、特に、配水管における石綿管の残存距離及び浄化槽法定検査の実施率は、目標値を大幅に超えて達成しています。このことから、指標全体では、目標・予定に概ね沿う成果・進捗であると判断しました。	上下水道施設の老朽化対策については、費用等を考慮しながら適切に対処されたい。
		配水管における石綿管の残存距離	km	8.2	6.7	5.7	0.0				
		下水道普及率	%	68.9	69.0	69.0	70.7以上				
		水洗化率	%	94.3	94.3	94.4	94.5以上				
		浄化槽法定検査の実施率	%	4.8	6.0	8.6	30.4 →15.6以上	全国平均値37.9%(H26年度末)及び埼玉県平均値11.5%(H26年度末)の乖離を考慮し、久喜市における実施率の上昇値の実績から推計。			
5	治水対策の充実	浸水による通行止箇所 の減少	箇所	29	27	26	25以下		2	浸水箇所の減少のため、現地調査や対策方法について検討を重ねている状況であり、目標・予定に沿う進捗であると判断しました。	
6	防災・消防体制の充実	自主防災組織の組織率	%	64.9	68.1	71.0	80.0以上		1	過去の3カ年において目標数値を上回っており、組織率の伸び率も順調であるため、目標・予定を上回る成果・進捗であると判断しました。	
		災害時応援協定締結数	件	24	28	33	50以上	新たな指標として追加。災害時に備え、物資の優先供給や職員の派遣等について、民間事業者や自治体などとあらかじめ協定を締結しておくことが妥当なため、年間2件程度の増加を見込んでいる。			
7	防犯体制の強化	防犯灯の設置基数	基	9,566	9,672	9,784	10,110 →10,200以上	平成27年度末において、中間目標値9,730基を達成している。市民ニーズを踏まえ、現状値より400基増加の目標値を設定。	2	防犯灯の新設については、地元区長からの要望を受け、市全体を俯瞰し箇所付けをした上で、予算の範囲の中で最大限の対応をしています。刑法犯認知件数の減については、警察署及び防犯協会をはじめとした関係団体と連携を図りながら、1年を通じた事業活動を行っています。こどもレディース110番の家相談員数については、目標・計画を下回る結果となりました。施策全体として達成度を勘案した結果、目標・予定に概ね沿う成果・進捗であると判断しました。	
		刑法犯認知件数	件	1,590	1,588	1,518	2,101以下 →1,518以下	目標値を上回っていることから、今後も現状値以下を維持することを目標とする。			
		こどもレディース110番の家相談員数(1戸あたり1人)	人	1,087	1,052	1,065	1,149以上 →1,000以上	核家族化等の社会情勢から減少傾向にあり、現状値と目標値が乖離しているため、現状値を踏まえ設定。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成度	評価の理由	行政評価委員会の意見
8	交通安全対策の 充実	交通事故発生件数	件	675	746	736	656以下		2	道路照明灯と道路反射鏡の設置については、概ね計画どおりの進捗となっています。 一方、交通事故発生件数は、前年度より減少したものの、目標・計画には届きませんでした。また、交通災害共済加入件数も、目標・計画を下回る結果となりました。 このようなことから、上記4つの指標を中心に目標達成度を勘案したところ、全体としては、目標・予定に概ね沿う成果・進捗であると判断しました。	
		道路照明灯の設置基数	基	2,430	2,478	2,560	2430 →2,570以上	年間2基程度で10基の増加を見込み、目標値の見直しを行った。			
		道路反射鏡設置基数	基	3,980	3,992	4,043	4,220 →4,272以上	年間30基程度の増加を見込み、目標値の見直しを行った。			
		交通災害共済加入件数	件	17,649	16,717	16,064	30,100 →11,090以上	加入者数は年々減少している状況を鑑み修正。			

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見
大綱6 地域の産業が元 気で、多彩な企業 が集積する豊かな まち (14指標)	1 農業の振興	農業生産法人数	法人	3	3	4	9以上		3	農業生産法人数については、平成27年度実績、4法人となっており、達成率80.0%で目標未達成となっていますが、認定農業者数については、平成27年度実績、159人で、達成率115.2%で目標達成となっています。 農業政策全般においては、国や県の動向を注視しながら、取り組んでいます。農業者の減少や高齢化の進行により大幅な増加は見込めないが、毎年2人ずつの増加を想定し、目標値の見直しを行なった。	
		認定農業者数	人	122	144	159	151 →176以上				
	2 工業の振興	企業誘致奨励金を 交付した企業数	企業	9	11	16	14以上	指標から削除。 平成25年度までに土地を購入・賃借した事業者 が対象であり、今後は交付件数増加が見込ま れるものではないので、指標として適切ではな いため削除。	2	企業誘致奨励金交付企業は16社となり、目標数を上回りました。清久 工業団地周辺地区に進出した企業の操業に伴い、交付企業が増加し ました。製造出荷額は、昨年に引き続き、流通業の進出が多いため、下 回ったものと考えられます。また、事業所の数は若干の増となっており、 工業団地の効果が表れていると考えております。目標達成度を判断す る際に、目標を下回る製造出荷額に対し、目標を上回る企業誘致奨 励金の交付企業数と事業所数を比較検討すると、全体では目標・予定 に沿う成果・進捗であると判断しました。	
		製造品出荷額	万円 →億円	38,917,232 →3,897.12	38,788,556 →3,878.85	39,910,061 →3,991.00	44,432,000 →4,443.2以上	万円単位では分かりづらいため、億円単位へ改 める。			
		市内事業所の数	社	243	242	247	250以上				
	3 商業の振興	商工会加盟商店 数 会員数	数	2,517	2,494	2,660	2,670 以上		2	商店街の行う街路灯管理事業、活性化推進事業及び環境整備事業 に対し、補助金を交付しました。 商工会が実施する経営改善普及事業、地域総合振興事業等に対し、 補助金を交付しました。 商店街の活性化を目的として、久喜市営久喜駅前駐車場の管理運営 を実施しました。 空き店舗を活用して創業する者に対して、賃借料、改修等経費、広報 費の1/2以内を補助金として交付しました。 (平成27年度から実施)	
		制度融資件数	件	10	1	0	7	指標から削除。 金融機関や国・県等の融資制度が充実して おり、国の金利等の金融政策の影響もあるため、 現時点で市の融資制度を指標とすることが適当 ではない。			
		空き店舗を活用し た創業補助件数	件	-	-	2	5以上	H28年度実績が5件であることから、目標値を5 件以上とした。			
		小売商業の商品 販売額	万円 →億円	-	-	15,487,700 →1,548.77	15,728,000 →1,572.8以上	万円単位では分かりづらいため、億円単位へ改 める。			
	4 観光の振興	観光イベント来場 者数	人	940,000	879,000	945,000	1,000,000以上		2	観光イベント来場者数の目標達成率は95.5%であり、概ね目標を達成 しています。 観光ホームページアクセス件数については、市ホームページのリ ニューアルによりサイトが変わったため、前年度との比較は出来ませ ん。 上記2指標から施策の目標達成度を判断した場合、観光イベント来場 者数は、おおそ目標を達成しており、観光ホームページアクセス件数 は評価の対象と出来ないことから、目標・予定に概ね沿う成果・進捗で あると判断しました。	提燈祭りをはじめとした、様々な 祭りやイベントを充実させること で、市の魅力を高めるとともに、 内外に対して一層のPRを図られ たい。
		観光ホームページ アクセス件数	件	49,488	47,096	40,779	55,000以上				

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1: 予定を上回る成果・進捗、2: 目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3: 目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価		
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成度	評価の理由	行政評価委員会の意見
5	勤労者福祉と就業支援の充実	就業者数	人	-	-	75036	71,280以上		2	就業者数は、平成27年国勢調査のデータで現在未公表の為、評価対象外です。久喜市ふるさとハローワークの雇用相談における市内就職率は、目標値を上回り、久喜市ふるさとハローワークの雇用相談利用者数は、目標を下回りました。近年の景気回復によるものと考えています。目標達成度を判断するときに、目標を下回る雇用相談数に対し目標を上回る就職率であることから、全体では目標・予定に概ね沿う成果・進捗であると判断しました。	
		久喜市ふるさとハローワークでの雇用相談における市内就職率	%	67.8	62.9	67.4	64.2以上 →68.0以上	現状の就職率を鑑み修正。			
		久喜市ふるさとハローワークの雇用相談利用者数	人	10,987	10,361	9,454	14,023以上 →9,500以上	現状値を鑑み目標値を修正。			
6	消費生活の充実	消費者相談件数	件	371	355	415	505以上		3	消費生活相談室では、目標を上回る415件の新規の相談を受け、多くの市民に対し助言を行うとともに事業者へ斡旋を行う等、消費者トラブルの解決に努めました。 また、最新のトラブル事例等を紹介するため、消費生活講座を開催し、多くの方々を対象とし、意識啓発に努めましたが、結果的には、参加人数は目標に達しませんでした。 国や県からのトラブル情報を、広報くきや市ホームページに掲載し、多くの市民に向け、注意喚起しました。	消費生活講座受講者数について、周知方法や開催方法を見直すなど、方策を講じて目標を達成されたい。
		消費生活講座受講者数	人	37	38	25	60以上				

成果指標一覧表

施策の目標達成度(1:予定を上回る成果・進捗、2:目標・予定に概ね沿う成果・進捗、3:目標・予定を下回る成果・進捗)

大綱	施策	指標名	単位	実績値			平成34年度 (目標値)	目標値の修正理由	実績に対する評価			
				平成25年度	平成26年度	平成27年度			施策の 目標達成 度	評価の理由	行政評価委員会の意見	
大綱7 行財政を見直し、 改革を進めるまち (8指標)	1 行政改革の推進	市職員数	人	941	935	923	936以下 →908以下	既に平成34年度の目標値を達成しており、定員適正化計画(平成28年3月策定)に定めた目標を新たに設定する。	3	市職員数については、既に中間目標値(平成29年度目標値)を達成しております。 一方、行政改革実施計画の達成率は89.5%となっており、平成27年度を下回る結果となっています。また、施策評価につきましても63.8%となっており、平成27年度と比較しますと、若干、上向いていますが、多くの施策で進捗が遅れがでている状況であります。 行政改革実施計画と施策評価につきましては、目標の達成率100%に達しないことから、施策全体の目標は下回る状況であると判断しました。	接客サービスの向上に努め、窓口サービスの充実を図りたい。	
		行政改革実施計画の達成率	%	91.6	90.5	89.5	100.0					
		施策評価の成果指標の達成率	%	67.3	60.9	63.8	100.0					
	2 健全な財政運営の 確立		経常収支比率	%	91.0	91.7	90.2	埼玉県内市平均以下→前年度県平均値と90.2%を比較し、低い方の比率	社会保障費の増加等により、全国的に比率が上昇すると予想されることや、公表されている直近の全国平均が92.1%と高いことから、前年度埼玉県平均値(市のみ)と合併後久喜市の最低値である90.2%を比較し、低い方の比率とする。	2	公債費負担比率及び実質公債費比率については、標準税収入額等の増(平成26年度比525,638千円増)等により、平成26年度と比べ2.1ポイント及び0.7ポイントの減となりました。目標値と比べても1.8ポイント及び0.6ポイントの減となり目標を達成しました。 市税の調定額は、平成26年度比1.2%減となりましたが、収入済額は、徴収努力の成果により、0.1%の減に留まっております。この結果、収入未済額は平成26年度と比べて15.8%圧縮し、目標値と比べても494,000千円の減となり目標を達成しました。 財政調整基金残高については、市税収入の増及び経常経費の節減により平成26年度と比べ106,748千円増の5,510,474千円が確保でき、0.2ポイントの増となりました。目標値と比べても8.1ポイントの増となり達成しました。 しかし、経常収支比率については、地方消費税交付金の増や地方債に係る元金の減等により、平成26年度と比べ1.5ポイントの減となりましたが、目標である88.0%に達成できませんでした。 以上のことを総合的に判断し、「目標・予定に沿う成果・進捗である」としました。	
			公債費負担比率【削除】	%	15.6	13.8	11.7	埼玉県内市平均以下				指標から削除。 公債費に関する指標としては、下段の「実質公債比率」がよりふさわしいことから削除するもの。
			実質公債費比率	%	9.4	9.0	8.3	埼玉県内市平均以下→前年度数値以下				今後は上昇することも予想されるが、プライマリーバランスに配慮するなどの取組みにより、前年度数値以下とする。
			市税の滞納額	百万円 →億円	1148 →11.48	963 →9.63	811 →8.11	1,305以下 →630以下 →6.3以下				今後も滞納額の圧縮を図るが、圧縮率は低下することが見込まれるため、平成22年度から平成27年度の圧縮率の2分の1程度で算出した滞納額を目標値とした。
			年度末財政調整基金残高	億円 (%)	53 (17.7)	54 (17.9)	55 (18.1)	標準財政規模の10%以上				
	3 地方分権・広域行政の推進		県からの権限移譲事務数	事務	95	99	91	82 →101以上	平成29年4月1日現在での委譲事務数が目標値を上回っている。平成29年4月1日時点以上の委譲を目指すこととする。	1	権限移譲については、82以上の目標値に対し、91事務を受け入れており、既に中間目標値を達成していることから、順調に進捗しています。広域行政では、公共施設の相互利用を推進しており、一定レベルのサービス充実を図っています。シティプロモーションは、推進指針及び実施計画に基づき、主管課において各種取組項目を実施し、市全体でシティプロモーションの推進を図るとともに、総合戦略におけるKPIであるPR動画が再生された回数について、目標を上回る実績となっています。 これらを施策全体として見たとき、目標を上回る進捗状況であると判断しました。	